

氏名	丸橋 唯郎
よみ	まるはし ただお
英字	Maruhashi, Tadao
オフィスアワー	水曜日4限14:40-16:10
プロフィール	早稲田大学、東京学芸大学、放送大学非常勤講師 文京女子短期大学准教授 浜松学院大学短期大学部准教授 清和大学教授
職位	特任教授
最終学歴	早稲田大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程満期退学
学位	文学修士
所属学会・役職	多文化間精神医学会 日本教育心理学会 教育精神医学研究会理事
専門分野	教育思想史 教育哲学
研究テーマ	新しいpedagogical approach
	<p>(著書)</p> <p>『教育学入門』鈴木洋子他 平成7年 八千代出版 第2部第7章「高等教育論」</p> <p>『教育関係の再構築』市村尚久他 平成8年「ふれあいの教育的効果--- 自己準拠性の視点から」東信堂</p> <p>『大学生の本音トーク』秋桜社 平成10年</p> <p>『学生と語る教育学』丸橋唯郎他 平成14年 学文社</p> <p>(学術論文)</p> <p>「アメリカの高等教育論におけるリベラリズムとリベラル教育概念の相違性」『関東教育学会紀要』平成2年 第17号 関東教育学会</p> <p>「アルテス・リベラレス研究序説」平成4年『早稲田大学大学院文学研究科紀要』別冊 第18集 早稲田大学大学院文学研究科</p> <p>「現代日本の高等教育システム戦略Ⅰ」平成5年『フィロソフィア』第81集 早稲田大学哲学会</p> <p>「カルヴァンの世俗的統治論 --- 「学校化」論との類似性について」平成11年『文京女子短期大学紀要第32号』文京女子短期大学</p> <p>「権威なき教育の可能性 --- 「ズレ」を解消するもの」平成14年 『文京学院大学外国語学部紀要創刊号』</p> <p>「精神医学的心理教育による「良心」の回復 --- 境界性人格障害/反社会性人格障害患者への臨床医学的実践をてがかりとして」平成18年『浜松学院大学短期大学部紀要第2号』</p> <p>「学校教育における児童心理の精神医学的考察 --- 沈黙の共感による不安障害の克服」平成19年 『清和研究論集第13号』</p> <p>「新しいペダゴジカル・アプローチ --- 精神科医の&lt;arts&gt;を手がかりとして」平成20年『清和研究論集第14号』</p> <p>「学校化論再考Ⅰ--- カルヴァンの統治システムを手がかりとして」平成21年 『清和研究論集第15号』</p> <p>「教育における自己愛病理の生成過程Ⅰ --- 私はなぜ私かわからないか&lt;象徴と自己愛&gt;」平成21年『清和研究論集第15号』</p> <p>「教育における自己愛病理の生成過程Ⅱ --- 自己愛と教育効果」平成22年『清和研究論集第16号』</p> <p>「学校化論再考Ⅱカルヴァンの&lt;新&gt;教育論」平成22年 『清和研究論集第16号』</p> <p>「教育における自己愛病理の生成過程Ⅲ --- 教師の自己愛と生徒との関係性」平成23年 『清和研究論集第17号』</p> <p>「教育における自己愛病理の生成過程Ⅳ --- 超越性という自己愛」平成24年 『清和研究論集第18号』</p> <p>「不安を抱える大学生の救済策」平成26年 『清和研究論集第20号』</p>

「デューイ教育学の再考 --- リベラル教育観を中心に」平成26年 『清和研究論集20号』

「R.Mハッチンズにおける「リベラル教育観」と「自由人」」平成27年 『清和研究論集第21号』

「道徳教育における「信頼」と指導法 --- 社会システム論の視点から」平成30年 『清和研究論集第24号』